

◎米系証券ストームハーバー、代替エネルギー分野での企業提携仲介に意欲

時事通信企業ニュース 2011.07.28 時事通信 (全409字)

米系証券会社ストームハーバー証券(東京)の那珂通雅社長は28日、東京都内で記者会見し、東日本大震災や東京電力(9501)福島第1原子力発電所の事故で注目される代替エネルギー分野での企業提携仲介に意欲を示した。

同証券の親会社である米金融サービス会社ストームハーバー・パートナーズLP(ニューヨーク州)は、世界7カ国で事業を展開している。

那珂社長は「われわれには太陽光や風力、バイオマスなどで高い技術を持つ海外企業とのコネクションがある」と説明。商社やエネルギー関連企業と協力して、海外の代替エネルギー技術を日本企業に導入したり、日本で外国企業が合併会社を設立するといった案件を進めているという。

同証券は昨年12月に設立。日本の機関投資家や富裕層向けの証券業務に加え、海外企業に対して日本での投資銀行業務を提供している。日本政策投資銀行系の投資会社あすかDBJパートナーズ(東京)が同証券に8%出資している。(了)

時事通信社

本サービスにおける著作権および一切の権利は株式会社ジー・サーチまたはその情報提供社に帰属します。
本サービスの出力結果を複製、複写、出版、販売または第三者に対し配布することは禁止されています。